



ほっとニュース

2018年5月発行

発行：度会郡・大台町ファミリー・サポート・センター



度会郡の4町（玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町）と多気郡大台町の5町が連携し、（特）三重県子どもNPOサポートセンターに委託してファミリーサポートセンター事業を実施しています。

ファミリーサポート事業では「子どもは可愛い」「子育て中のお母さんをサポートしてあげよう」「地域の子どもは宝だ」と思って活動している提供会員がいてくださり、依頼会員からは「今まで利用はしていないが登録しているだけで、安心をもらっている」「地域の方が、自分の子どもを愛情いっぱいに見守ってくれるのがうれしい」「サポートしてもらって助かった」というお声を頂き、アドバイザーとして、本当にうれしく思います。

地域的には、家族内や保育所でのサポートが充実していることもあり、たくさんの依頼があるわけではありませんが、センターとしては、提供会員養成講座にたくさんの人に参加していただき、子育てにやさしい地域づくりを進めていきたいと思っています。

そして、より良い活動をしていただくために、提供会員の方に一番気を付けていただく事は、安全なサポートです。最近では、ファミリーサポート事業の全国交流会でも、リスクマネージメントについての話が中心になっています。

そこで平成29年度は、ニュースや交流会で「もしも災害が起きたら」というテーマで色々な情報提供をしてきました。

「家具は、固定していますか？」

「車に乗る時は、必ずチャイルドシートに乗せていますか？」

「子どもは、今までできなかったことが、あっという間にできるようになります。預かる部屋に危険なものはないですか？」

会員だけでなく、地域全体の安全に対する感度を上げて「まさか」が起こらないよう、これからも皆さんに情報発信をしていきたいと思っています。

（アドバイザー 鬼藤）

	依頼会員	提供会員	両方会員	会員数合計	活動件数
大台町	53人	47人	7人	107人	15件
玉城町	97人	47人	7人	151人	8件
南伊勢町	12人	10人	1人	23人	2件
大紀町	11人	23人	1人	35人	1件
度会町	24人	16人	2人	42人	0件
計	196人	143人	18人	358人	26件

**地域別会員数
& 活動件数**
(平成30年3月末現在)

利用状況
(平成29年度)



- 保育施設の開始時や終了後の子どもの預かり・・・・・・・・・・7件
- 保育施設等までの送迎・・・・・・・・・・7件
- 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり・・・・・・・・・・0件
- 学校の放課後の子どもの預かり・・・・・・・・・・0件
- 冠婚葬祭や兄弟の学校行事の際の子どもの預かり・・・・・・・・1件
- 買い物等外出の際の子どもの預かり・・・・・・・・・・9件
- その他・・・・・・・・・・0件
- 病児・病後児の預かり・・・・・・・・・・0件
- 宿泊を伴う預かり・・・・・・・・・・0件
- その他（早朝・夜間等の緊急時の預かりなど）・・・・・・・・2件
- 上記に伴う保育施設、病児・病後児保育施設自宅間の送迎・・0件

平成 29 年度交流会

日時：平成 30 年 3 月 18 日（日）

午前の部 10:00~12:00 南伊勢町 浮島パークなんとう 参加者：18 人

午後の部 14:00~16:00 大台町 健康ふれあい会館 参加者：25 人

講師：南伊勢町役場 瀬古智秀さん

大台町役場 大森豊さん

午前の部 南伊勢町では・・・

避難場所で火をおこすことを想定して、一人一人がマッチで火をおこし、ポリ袋に米と水を入れ、湯の中に入れて 30 分程煮る（材料は自由）体験をしました。

2 個のプラコップをならべ 1 個には米を入れ、もう 1 個には水を入れます。（水は米より 1cm ほど多く）子どもはこの 1cm がまちまちで、でもこれで OK と自分で決めて炊きました。少しかたかったり、やわらかかったり・・・でしたが自分で炊いたご飯はおいしい！！と笑顔いっぱいでした。

ご飯が炊ける間に「災害が起きた時まず命を守るには」のお話を聞きました。講師の方に「家の中の備えは？」と聞かれ、「してある」「まだしてない」「してあるよな」と親子で顔を見合わせたり、話し合いをしたりしました。また「今、グラッときたら！」効果的な机の下へのもぐり方や、非難袋に準備しておく物、適切な家具の固定の仕方などの話を聞きました。そして避難所でのけがの手当てや、冷たい缶詰等を瞬時に温める実験をして、楽しく防災を学ぶ体験ができました。

これを機に家族でいろいろな事を確認していただけるといいですね。



ファミリーサポートセンター事業を展開する中で、子どもがケガをしたり、体調が急変したり、自然災害が発生したりとさまざまなリスクが伴ってきます。

そこで平成 29 年度の交流会は「災害が起きた時命を守るには」のお話と、避難場所でご飯を炊く（バッククッキング）を体験しました。



午後の部 大台町では・・・

バッククッキングを、ロケットストーブを使って行いました！初めて見るロケットストーブに子どもたちも大人も興味津々でした。マッチを擦る体験では、初めてのことで「怖い～」「どうやるの？」とお家の人にアドバイスを求めたり、すごく緊張しながらも、マッチを擦ることに挑戦したりする子どもたちの姿がとても印象的でした。

ご飯を炊いている間に、防災のお話ということで、自助・公助・共助について話を聞きました。

- ・自助・・・自宅の家具の固定や、一家で 3 日間は生活ができるように食料などを備えておくこと。
- ・公助・・・大台町では、56 カ所の避難所を設けており、様々な物を備蓄している。
- ・共助・・・けがをした人を助けたり、一人で避難できない人を避難所へ連れて行ったりして助け合うこと。

また、災害が起きたときに、どのように家族と連絡を取るのか、避難場所の確認などを家族で話し合っておくことの大切さを話していただきました。役場の人は、避難所には行けないかもしれないので、地域の人で協力し合って、避難所の運営をしていかなければいけないこと。そのために、普段から地域の人とは顔見知りになっておくことも大切だと知りました。

お話が終わった頃には、ご飯も炊きあがり、皆で試食をしました。炊飯器が使えなくても、こんな風に温かいご飯が炊けることも知らえてもらえ、楽しい交流会となりました。



平成 29 年度提供会員養成講座を終えて

平成 29 年 5 月 13 日・14 日・20 日・21 日・27 日の 5 日間、南伊勢町役場にて開催しました。

今回子育て支援者の方や子育て中の方も受けて頂き、延べ 29 人の方に参加して頂きました。

登録は 2 名、あと 3 講座補講を受けて 1 名登録予定です。

提供会員のための養成講座ではありますが、子育て中の方、子育て支援者、また地域の住民の方に受けて頂き、地域の子どもたちを温かく見守って頂けると、子育てがしやすい地域になっていくと考えています。

ファミリーサポート事業を立ち上げて、7 年目になりました。南伊勢町は登録、利用件数ともに多くはありませんが、今後も地域の皆さんに受講していただけるよう、働きかけていきます。

アドバイザー 倉木紀子



平成 29 年度全国アドバイザー講習会・交流会に参加して

10 月 5 日（木）、全国のファミリーサポートセンターのアドバイザーが一堂に会し、相互援助活動のレベルアップのための情報交換や勉強をするための、ファミリー・サポート・センター全国アドバイザー講習会・交流会に参加しました。

全体テーマは、「ファミリー・サポート・センターにおける事故防止と事故対応の取組～より安全に、より安心な活動をめざして～」ということで、株式会社インターリスク総研マネージャー・上席コンサルタントの梶浦勉さんの基調講演と、救急救命講習の基礎として講演と、リスクマネジメントについて話し合うグループワークを行いました。

近年、安全管理が重要視されており、センターを運営していく上で、改めてリスクマネジメントの重要性を考え、私たちアドバイザーが何をすべきか、事故をどうしたら予防できるか、万が一事故が起きた時の適切な処置について学びました。

ファミリーサポートセンター事業では、「子どもの安全を確保すること」を大前提としていますが、援助をする子どもの年齢や預かり時間、送迎のあるなしなど、依頼内容がそれぞれ異なるため、子どもの安全を確保するために気を付けなければいけないことも様々です。日頃からの慣れや不注意から、大きな事故には至らないものの、「危なかった」とヒヤリとしたり、ハッとしたりする経験が私にはあります。これは、誰でも経験したことがあるのではないのでしょうか。ヒヤリ・ハットをどう感じるかは人それぞれで、なかには危険が予測できることにも気づかないということもあるかと思いますが、ヒヤリ・ハットの事例から、大きな事故を未然に防ぐことができるのです。

また、活動の中に潜む「危険」が事故につながらないように、どんな危険が潜んでいるのか、危険のポイントはどこか、その危険に対して、どんな対策をとったらいいかなどを考えることで、様々な危険を予知し、回避することができるということを学びました。

提供会員が、援助をする際の危険や不安を少しでも和らげ、安心して安全な活動をしていくことができれば、子どもを預ける依頼会員も、安心してこの事業を利用してもらえます。そのために、私たちアドバイザーは、日頃から関わる中でどんな事でも話してもらえるような関係を築くこと、具体的な情報提供を行い些細な心配事を未然に解消していけるようにしていくことが大切だと感じました。

アドバイザー 西村理沙

平成 30 年度提供会員養成講座ご案内

提供会員養成講座は毎年5町で順番に開催しています。平成 30 年度は度会町にて開催します。子どもが好き、子どもと関わる活動がしたいと思っている方は、是非この機会に受講してください。また、子育て中の方や、お孫さんを預かっている方も、子育てに役立つ基礎知識を学んでいただけますので、是非お申し込みください。（※依頼会員と提供会員を兼ねることもできます）

対象者：玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町・大台町内および近隣市町に在住する 20 歳以上の方で、受講後に提供会員として登録していただける方

募集人数：30 名（先着順）

受講料：無料 ただし、テキスト代（2,500 円）は受講者負担となります。

※講座日程のすべてを一度に受講できない方は、ご相談ください。

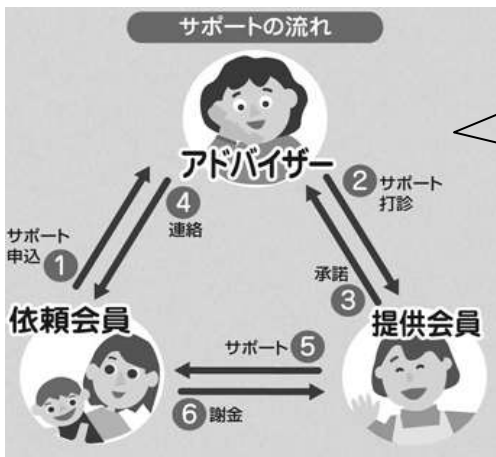
その他：託児をご希望の方は、受講申し込み時にご相談ください。（無料）

講座内容	講師（敬称略）
子どもの権利	田部眞樹子：(特)三重県子どもNPOサポートセンター理事長
保育の心	堀川美子：育児支援アドバイザー
提供会員の役割と心得	秋山則子：(特)三重県子どもNPOサポートセンター副理事長
子どもの遊び	山野栄子：ユマニテク短期大学准教授
身体の発達と病気	花田 基：花田小児科院長
子どものけがの予防と応急処置	富内直美：日本赤十字社三重県支部 看護師
子どもの栄養と食生活	馬場啓子：管理栄養士（元大学教授）
心の発達/障害について	千草篤麿：高田短期大学こども学科学科長
小児看護の基礎知識	岡田まり：(株)ジェネラス訪問看護ステーションほたるいせ管理者
会則・活動記録等の説明	担当アドバイザー
講座をふりかえって (グループで話し合い)	度会町担当者 秋山則子：(特)三重県子どもNPOサポートセンター副理事長

※平成 30 年度の提供会員養成講座の日程は、冬（平成 31 年 1 月）に度会町で予定しています。ただいま調整中です。決まり次第、またお知らせします。

ファミリー・サポート・センターのしくみ

残業で子どもを迎えに行けない・具合が悪くて子どもの世話が出来ない・就職の面接に子どもを連れて行けない・お買い物をゆっくりしたい・病気は治ったけれどもう一日ゆっくり休ませたい・泊りの出張が入り子どもをみる人がいないなどどんな理由でも大丈夫！！
小学 6 年生までの子どもをお持ちの方が依頼会員になります。



- ・依頼会員は登録をします。（無料）
- ・アドバイザーと提供会員、依頼会員と子どもで事前打ち合わせをします。
- ・依頼会員は、センターに電話にて依頼します。
- ・アドバイザーが提供会員に連絡し、確認後実施されます。
- ・提供会員は、月締めで活動報告をまとめセンターまで提出します。
*キャンセルの場合は、依頼会員から提供会員とセンターに速やかに連絡してください
*サポート依頼は原則、センターの開設時間内に受け付けます。

利用料金について

利用時間	金額
午前7時～午後7時（日・祝・年末年始（12/29～1/3）を除く）	1時間あたり 700円
上記以外の時間帯 上記（ ）内の時間帯	1時間あたり 800円

ただし、次の場合は、下表の料金を適用する。

内容	利用時間	金額
緊急時 軽い病児 病後児	午前7時～午後7時（日・祝・年末年始を除く）	1時間あたり 1,000円
	上記以外の時間帯	1時間あたり
	上記（ ）内の時間帯	1,200円
宿泊	午後 10 時～午前 6 時（連続 8 時間）	1 回あたり 5,000円

お問い合わせは…

みえ子育て支援・緊急サポートネットワーク

★南勢志摩地域センター

玉 城 町 担当アドバイザー 池田千恵
地域サブリーダー 松井麻起子
度 会 町 担当アドバイザー 岩井圭子
大 紀 町 担当アドバイザー 鬼藤千代子
南伊勢町 担当アドバイザー 倉木紀子

TEL&FAX 0596-23-3938

〒516-0037 伊勢市岩洲 2 丁目 3 番 13 号

NPO 法人 三重みなみ子どもネットワーク内

★多気郡地域センター

大 台 町 担当アドバイザー 西村理沙

TEL&FAX 0598-22-1950

〒515-0084 松阪市日野町 788 カヨブ 1 階

特定非営利活動法人 松阪子ども NPO センター内